

最高のおもてなし

奥山 晃弘

(株式会社泥湯温泉 代表取締役)



■記憶

秋田県の南に位置する日本三大霊地川原毛地獄のそばにひっそりと佇む泥湯温泉。

私が小さい頃は、地元の人達の湯治場として賑わう温泉宿でした。自炊場もあり、農繁期を終えた人達が何週間も湯治をし、体の疲れを癒していました。混浴の風呂場からは民謡や手拍子が聞こえ、お客様はみな朗らかに笑っていてゆったりとした時間が流れていたように思います。

宿もお客様もおおらかで予約もなく訪れ、部屋がなければ相部屋でと、昨今では考えられない古き良き時代でした。

25年ほど前までは、冬期間は除雪されないため道路が雪で閉ざされ、宿も休業しておりました。先代は、通年営業ができるように自分で重機を運転し除雪作業を行っていましたが、その後、近くの「上の岱地熱発電所」の運転開始などもあって湯沢市で除雪を行っていただけるようになりました。

■想い

子供の頃は、何もないこの温泉地を近代化したいと思い描いておりました。

バブル絶頂の頃から先代がよく口にしていた「手つかずの自然が最高のおもてなし」。当時私は、時代に逆行するようなこの言葉の意味を理解することはできませんでした。今、自分が経営者になり何を言わんとしていたのか、すっと心に落ちてきます。

現代社会では常に音や情報があふれ、それに触れないことは不可能な毎日です。そんな日常を切り離し、聞こえるのは川を流れる水の音、春には鶯が鳴き、冬はしんと降り雪の音が聞こえるような静けさ。見えるものは空と山だけ、晴れた夜には満天の星空、春はブナの新緑やこぶしの花、秋は紅葉——四季折々の色彩・音・匂、五感をフル稼働し自然を堪能することの贅沢さを味わえる場所を提供すること。

それが、泥湯温泉を通して私たちができる「最高のおもてなし」です。

■出会い

1987年、「日本秘湯を守る会」に参加させていただくこととなりました。

“旅人の心に添う 秘湯は人なり”は日本秘湯を守る会の理念です。

「温泉の良さを守り、地球の恵みであり、限りある地下資源である温泉に感謝することを忘れることなく、その利用と管理に十分な配慮をし、枯渇させることなく守り続けるために自然環境の保持・保全に真摯に取り組み、日本の原風景と云うべき故郷を、自然風景を渴望する時が来ると信じ流行と云う上面に流されることなく、忘れてはならないもの、変えてはならないものは何かを問い求める。

いろいろな思いを胸に旅に出る人々の心根に思いをはせ、旅人を迎える宿と人がどうあるべきか、宿を取り巻く自然環境、温泉環境がどうあるべきかを問い続ける。」「(「日本秘湯を守る会」より抜粋)

多くの旅人に支持され、愛される宿の集まりの一員にさせていただき、先代からの想いも受け継ぎ自分が進んでいく道筋がわかってきました。当館のような小さな宿にとっては、「日本秘湯を守る会」の同志がいてくれることはとてもありがたく心強いと同時にほどよい刺激にもなります。

■恵み

当館は、2019年4月15日に「ゆざわジオパーク」のミニミュージアムを設けてリニューアルオープンいたしました。

目の前には草木も生えず白い山肌の寂寞とした光景が広がっています。近くには川原毛地獄、そこから歩くこと20分、落差20mの温泉が流れ落ちる滝壺が湯船となった野趣満点の川原毛大湯滝。少し足を延ばすと、上の岱地熱発電所、苔沼、小安峡大噴湯、院内銀山などのジオサイトも数多く存在しています。

宿周辺には複数の源泉が存在するため、泉質は単純硫黄泉（硫化水素型）・単純硫黄泉（低張性・弱酸性・高温泉）・単純泉（低張性・弱酸性・高温泉）等、バラエティーに富んだ温泉をお楽しみいただけます。

さらに、わらび、山独活、なめこなどの山菜、茸、ジュンサイや皆瀬牛など地元食材を使った旬な料理を楽しんでいただきたいと思います。



(宿泊棟)

■これから

大自然を相手にすることは、時には味方になってくれる半面、自然災害など厳しい面もあります。

改めて思い返すと決して順風満帆ではありませんでしたが、支えてくれる家族がいて、一緒に頑張ってくれる社員がいて、困ったときに手を差し伸べてくれる仲間がいることはとてもありがたいことと思います。

何百年も前からこんこんと湧く元湯を先祖代々守り続けている温泉宿。色々なメディアで取り上げていただき皆さんに知っていただく機会も増えました。昨年、「プロが選ぶ小さな宿10選」(日本の小宿10選)に選ばれたことは、励みにもなり身が引き締まる思いです。

今後もおごることなく、強い思いを持って精進してまいりたいと思います。



(大露天風呂)

会社概要

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 会社名 | 株式会社泥湯温泉 |
| 2 | 代表者 | 代表取締役 奥山 晃弘 |
| 3 | 所在地 | 〒019-0404
湯沢市高松字泥湯沢25 |
| 4 | 電話番号 | 0183-79-3021 |
| 5 | F A X | 0183-79-2677 |
| 6 | U R L | https://www.doroyu.com/ |
| 7 | 創業 | 1912年(大正元年) |
| 8 | 設立 | 1995年(平成7年) 9月 |
| 9 | 資本金 | 1,000万円 |
| 10 | 従業員数 | 5名(2021年7月現在) |